

一般競争入札を行いますので、京都市契約事務規則第28条の3の規定に基づき、次のとおり公告します。

平成19年1月30日

京都市長 榊 本 頼 兼

1 入札に付する事項

(1) 委託業務名

- ① 京都市イントラネット機器保守業務委託
- ② 局整備パソコン保守業務委託

2件一括

(2) 委託業務の特質等

入札説明書及び仕様書（以下「入札説明書等」という。）のとおりに

(3) 委託期間

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

2 入札参加資格に関する事項

一般競争入札参加資格確認申請書の提出の日において現に京都市契約事務規則（以下「規則」という。）第4条第1項に規定する一般競争入札有資格者名簿若しくは規則第22条第1項に規定する指名競争入札有資格者名簿に登録されている者（以下「登録業者」という。）又は登録業者以外の者で、一般競争入札参加資格の確認の結果の通知の日の前日までに平成18年12月5日付京都市告示第290号（以下「告示」という。）に定める資格の申請を行い、開札の時までに告示に定める資格を有すると認められた者のいずれかであって、かつ、一般競争入札参加資格確認申請書の提出の日（(1)にあつては、提出の日から競争入札参加資格の確認の日までの間）において下記(1)から(3)に掲げる条件（以下(1)から(3)のすべての条件を「特定競争入札参加資格」という。）を満たす者

- (1) 一般競争入札参加資格確認申請書の提出期限から競争入札参加資格の確認までの期間に、京都市競争入札等取扱要綱（以下「要綱」という。）第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止を受けていないこと。
 - (2) 本件入札に参加しようとする個人、法人の代表者又は個人若しくは法人の代表者の委任を受けた者（以下「代表者等」という。）が、本件入札に参加しようとする他の代表者等と同一人でないこと。
 - (3) 財団法人日本情報処理開発協会又は同協会が認定したプライバシーマーク付与指定機関が認定するプライバシーマーク使用許諾認証を取得していること。
- 3 入札説明書等及び一般競争入札参加資格確認申請書の交付方法並びに同説明書等に対する質問期限及び回答期限

(1) 入札説明書等及び一般競争入札参加資格確認申請書の交付方法

公告の日から平成19年2月13日午後5時まで、次の場所において無償で交付する。

ただし、京都市の休日を守る条例に規定する本市の休日（以下「休日」という。）を除く。

なお、交付を行う時間は、午前9時から午後5時まで（ただし、正午から午後1時までを除く。）とする。

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市役所本庁舎1階

京都市理財局財務部調度課

電話 075-222-3315

(2) 入札説明書等に対する質問期限及び回答期限

ア 入札説明書等に対して質問しようとする者は、市長に対し、質問事項、住所、商号及び氏名（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名、届出済みの受任者（以下「受任者」という。）がある場合は、受任者に係る事

務所の所在地及び氏名)を記載、押印した書面を、平成19年2月13日午後5時までに、持参により京都市理財局財務部調度課まで、提出しなければならない。

なお、書面の受付時間は、休日を除く日の午前9時から午後5時まで(ただし、正午から午後1時までを除く。)とする。

質問期限締切後、入札説明書等に対する質問は、一切受け付けない。

イ 市長は、アにより質問を受けたときは、平成19年2月23日までに、質問に対する回答書を、京都市理財局財務部調度課において閲覧できるようにする。

4 競争入札参加資格確認の手続

(1) 提出書類

入札に参加しようとする者は次に掲げる条件に係る証明書等を提出し、審査を受けなければならない。

ア 一般競争入札参加資格確認申請書

イ 添付書類

2(3)に掲げる資格を有することを証明する書類

なお、指定する期間内に必要な書類を提出しない者又は入札参加資格がないと認められた者は、本件入札に参加することができない。

(2) 一般競争入札参加資格確認申請書及び添付書類の提出方法

入札に参加しようとする者は、下記ウの場所に下記アの期間内に、4(1)に掲げる書類を持参し提出すること。

なお、郵送する場合は書留郵便とし、下記ウの場所に下記アの期間内に必着させること。

ア 提出期間

公告の日から平成19年2月13日午後5時まで。ただし、休日を除く。

イ 提出時間

午前9時から午後5時まで。ただし、正午から午後1時までを除く。

ウ 提出場所

3(1)の場所へ提出すること。

(3) 競争入札参加資格確認通知

一般競争入札参加資格確認申請書及び添付書類の受領後、競争入札参加資格の確認を行い、その結果は平成19年2月23日までに一般競争入札参加資格確認通知書により通知する。

一般競争入札参加資格確認申請書の提出の日において特定競争入札参加資格を有していたと認められる登録業者以外の者が、平成19年2月23日の前日までに告示に定める資格の審査の申請を行っていた場合において、平成19年2月23日現在において告示に定める資格の審査が継続しているときは、その者が開札の時までに告示に定める資格を有していると認められることを条件として、入札することができるものとする。

なお、当該資格がないと認めた者に対しては、その理由を付して通知する。

(4) 競争入札参加資格がないと認めた者に対する理由の説明

ア 競争入札参加資格がないと認められた者は、市長に対し、書面により、競争入札参加資格がないと認めた理由の説明を求めることができる。

書面は平成19年3月2日午後5時までに、3(1)の場所へ持参により提出しなければならない。

なお、書面の受付時間は、休日を除く日の午前9時から午後5時まで（ただし、正午から午後1時までを除く。）とする。

イ 市長は、アによる説明を求められたときは、平成19年3月8日までに、説明を求めた者に対し書面により回答する。

(5) 競争入札参加資格確認の取消し

市長は、競争入札参加資格があると認められた者が、次の各号のいずれかに該当することとなったときは、4(3)による通知を取り消し、改めてその旨を通知するものとする。

ア 落札決定の日時までに、規則第2条に基づき告示し、又は要綱第14条の規定により定めた2の入札参加者の資格を喪失したとき。

イ 落札決定の日時までに、要綱第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止を受けたとき。

ウ ア及びイに掲げるもののほか、本件入札に参加する者に必要な資格を欠くこととなったとき。

エ その他市長が特に入札に参加させることが不適當であると認められたとき。

5 入札執行の日時及び場所

平成19年3月13日 午後5時

京都市理財局財務部調度課入札室

なお、入札書を郵送する場合は、書留郵便とし、平成19年3月12日午後5時までに上記3(1)の場所に必着させること。

一般競争入札参加資格の確認の結果の通知の前日までに告示に定める資格の審査を行っていた登録業者以外の者が、入札書を郵送しようとする場合において、入札書の到着の日においてその者が開札の時までに告示に定める資格を有していると認められることを条件として、入札書を受領するものとする。

6 入札方法

- (1) 落札決定は、1(1)①及び1(1)②の2件の予定金額の合計額の比較によって行う。
- (2) 入札書には、入札者が消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかにかかわらず、1(1)①及び1(1)②の2件の対象機器それぞれの契約希望単価の105分の100に相当する金額（1円未満の端数は小数点以下第二位まで

とすること。)にそれぞれの予定数量及び支払回数に乗じて得た額を合計した金額を記載すること。

- (3) 支払いは3箇月ごとに行うこととするため、契約希望単価は、3箇月分の請求額に相当する金額として計算すること。

7 契約方法

- (1) 契約は、単価契約とし、1(1)①及び1(1)②のそれぞれについて行う。
- (2) 契約単価は、1(1)①及び1(1)②のそれぞれについて、対象機器ごとに定める。
- (3) 1(1)①及び1(1)②の契約単価の算定に当たっては、落札者の入札書に記載された金額(以下「総価」という。)のうち62.10%を1(1)①に、37.90%を1(1)②に按分する。この場合において、按分した額がそれぞれの予定価格の制限の範囲を超えるときは、この比率を変更することがある。
- (4) 1(1)①の対象機器のそれぞれの契約単価は、総価の62.10%に相当する額を次の表の第1欄に掲げる機器ごとに、それぞれ同表の第2欄の割合で分割し、さらにそれぞれ同表の第3欄の予定数量及び第4欄の支払回数で割戻して得られた金額に当該金額100分の5に相当する額を加算した額(0.01円未満の端数があるときは、その端数を切り上げた額)とする。

第1欄	第2欄	第3欄	第4欄
サーバ	4.30%	40台	4回
ファイルサーバ	6.98%	一式	1回
クライアント	66.24%	3,700台	4回
プリンタ	12.69%	520台	4回
ネットワーク機器(課ハブ等)	5.99%	400台	4回
ネットワーク機器(グループハブ等)	3.80%	1,600台	4回

- (5) 1(1)②の契約単価は、総価のうち37.90%に相当する額を1(1)②の対象機器の予定数量(2,500台)及び支払回数(4回)で割戻して得られた金額に当該金額

100分の5に相当する額を加算した額（0.01円未満の端数があるときは、その端数を切り上げた額）とする。

8 禁止事項

- (1) 本件入札において落札し、契約の相手方となった者（以下「契約者」という。）は、本件入札において互いに競争相手であった落札者以外の者（以下「非落札者」という。）から契約の履行に必要な物件（落札者の商標を付して製作された物件を除く。以下同じ。）又は役務を調達してはならない。
- (2) 非落札者は、契約者に対して、契約の履行に必要な物件又は役務を契約者に供給してはならない。
- (3) 前2号の規定は、契約者が、非落札者以外の者を経由して非落札者から契約の履行に必要な物件又は役務を調達したとき及び特許権その他の排他的権利に係る物件の調達その他のやむを得ない事由により、非落札者から契約の履行に必要な物件又は役務の一部を調達する必要があるため、あらかじめ文書による本市の承諾を得た場合は適用しない。

9 落札者の決定方法

予定価格の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

10 入札の無効

- (1) 京都市契約事務規則第6条の2各号（第3号を除く。）に定めるもののほか、一般競争入札参加資格確認申請書その他の提出書類に虚偽の記載をした者が行った入札は、無効とする。
- (2) この入札において、代表者等と同一人である者の双方が入札したことが判明したときは、当該代表者等及び同一人である者のした入札は、規則第6条の2第13号に基づきそれぞれ無効とするとともに、競争入札参加停止を行う。

また、この入札により落札者を決定した場合において、契約を締結するまでの間に、落札者となった代表者等が、この入札において入札した他の代表者等と同一人であったこと

が判明したときは、契約を締結せず、それぞれについて競争入札参加停止を行う。

11 その他

- (1) この調達は、政府調達に関する協定の適用を受けるものである。
- (2) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (3) 入札保証金及び契約保証金 免除
- (4) 契約書作成の要否 要
- (5) 詳細は、入札説明書による。
- (6) 本公告に関する問い合わせ先 3(1)の交付場所に同じ。

12 予算不成立の場合の無効

本件調達に係る予算が成立しないときは、この公告は無効とする。

13 Summary

(1) Nature and estimated quantity of the products to be purchased:

- ① The maintenance of Kyoto City Intranet apparatus such as servers, personal computers, printers, and switching hub
- ② The maintenance of personal computers

(2) Time-limit for the submission of application forms and relevant document for the qualification: 5:00p.m. 13 February, 2007

(3) Time-limit of tenders:
5:00p.m. 13 March, 2007

(4) Contact point for the notice: Supplies Section, Finance Division,
Finance Bureau, City of Kyoto
Teramachi-Oike, Nakagyo-ku, Kyoto 604-8571, Japan
Phone 075-222-3315

(理財局財務部調度課)